

継続すれば道(未来)はひらける

なむら ゆき
名村 夕起 さん

株式会社ポーラ鈴鹿グランドグループ グランドオーナー

1978年 鈴鹿市生まれ

1995年 鈴鹿市内で父が経営するポーラの店舗にスタッフとして従事

これまでの道のり

高校在学中に父親が所長を勤めるポーラのお店での研修を受け、肌のお手入れについて学びました。そこから、友人に教えるようになり、人に喜ばれることに感動や喜びを感じ、この道を志すことになりました。卒業後は、家族経営の父の店に就職しましたが、同年、母の癌が発覚し余命宣告を受けました。そこで、一日も早く母の代わりが務められるようにと他の店舗に見学に行き、訪問販売等の技術を学びました。そこでは、厳しいことを言われることも多々ありました。

母の死去後は、私が中心となって父の店を支え、後に父が亡くなってからは、経営していた3店舗を引き継ぎました。経営について何も分からないところからのスタートでしたが、周囲の方の助けもあり、現在では、10店舗をもち従業員は100名以上にまで成長できました。

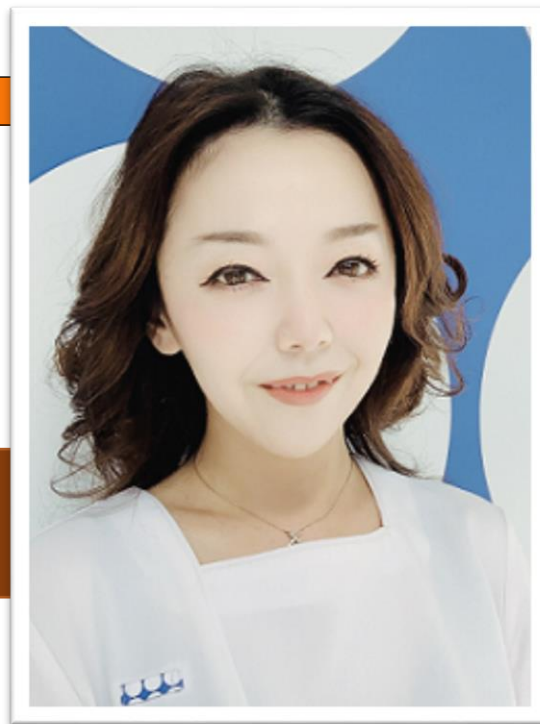
また、10年ほど前にビジネス以外でも地域の方々に喜んでいただけたら良いかと思いボランティア活動を始め、社会福祉施設でのハンドトリートメントや「おしゃれ講座」などを実施しています。

やりがい・喜び・私らしさ

この仕事は一生続けられるやりがいのある仕事です。人に喜んでもらえることが、自分自身の喜びそのものであり、とにかく何事も楽しんで、結果がどうであれ、継続することが大切だと思うことが、私らしさだと感じています。

また、その他に大切にしていることは、何でも相談し人の意見を聞くようにすることで、その際には、自分の考えを押し付けず相手の価値観をしっかり受け止めるように心がけています。

休みの日には、仕事のことはできるだけ忘れて自宅でゆっくりするなど、オンオフを区別しています。普段は仕事のことで頭がいっぱいで、無理し過ぎるタイプなので、そうならないようコントロールしています。



目標・私からのメッセージ

ずっと目標にしている私の憧れの存在は、(株)ポーラの元社長 横山弘樹氏です。横山氏は気さくで何でも相談でき、言葉だけではなくリーダーとはどうあるべきか身をもって導いてくれました。

そのような人物に少しでも近づけるよう、現在続けているボランティア活動を通じ、大好きな地元、鈴鹿市の皆さんに喜んでいただけるよう、そして鈴鹿の女性の皆さんに夢や希望を与えられるようビジネスの面でも、様々なことにチャレンジしていくことで地域への恩返しをしたいと思います。

私から伝えたいことは、今置かれている状況がピンチであっても、継続することで道は開けていくということです。どんな状況でも、プラスになると信じて踏ん張れば、負けることはないです。